

MiTA

2020/2/12

Vol. **68**

水島ポートニュース

Mizushima International Trade Association



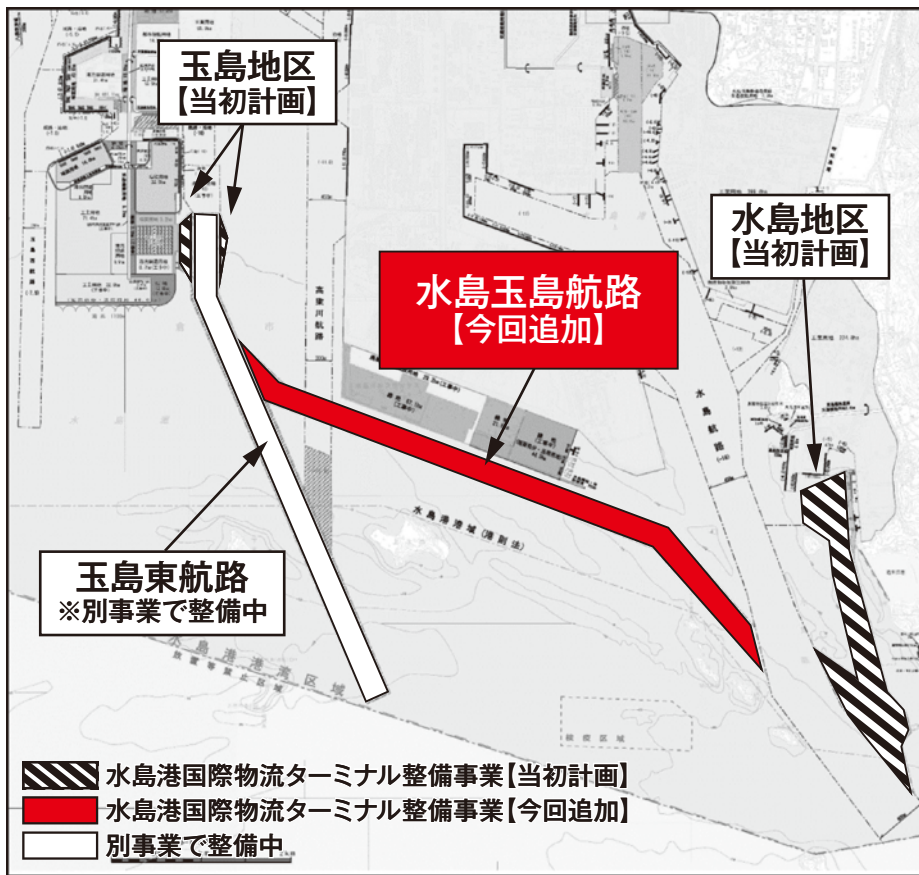
Contents

- ・「水島港国際物流ターミナル整備事業」への「水島玉島航路」の追加
- ・道路の国直轄事業区間における開通見通しについて
- ・『水島港利用促進セミナー(真庭)』を開催
- ・『JFE西日本フェスタinくらしき』へ出展
- ・『海外ポートセールス(中国)』を実施
- ・国際海上コンテナ車(40ft背高)の特殊車両通行届出不要区間について
- ・玉島ハーバーアイランドへの企業立地が決定
- ・外貿定期航路の船社等と「水島港の利用促進に関する意見交換会」を開催
- ・日本遺産に認定された玉島港③
- ・水島港の外貿定期コンテナ航路等の紹介



「水島港国際物流ターミナル整備事業」への「水島玉島航路」の追加について

令和元年12月13日に国直轄事業の事業評価監視委員会が開催され、既存事業である「水島港国際物流ターミナル整備事業」に水島地区と玉島地区を結ぶ「水島玉島航路」の水深12m化を追加し、事業継続することが妥当であるとの審議結果が出されました。当該事業は、水島地区と玉島地区の大型穀物船による企業間連携輸送を一層強化し、西日本における穀物取扱拠点として水島港のさらなる発展に寄与します。なお、当該事業の事業評価上の事業期間は令和7年度までとなっています。水島玉島航路の水深12m化の早期事業化については、当協議会としても要望活動を行ってきました。今後も引き続き当該事業の早期完成について要望活動を実施していきたいと考えています。



道路の国直轄事業区間における開通見通しについて

中国地方の国直轄道路事業について、国において事業費・事業工程の精査を行い、一定の進捗が図られている事業を対象に、開通見通しが公表されました。県内の主な開通見通しとしては、水島港から広島方面の道路ネットワークである玉島・笠岡道路(Ⅱ期)や笠岡バイパスが令和7年度、岡山市中心部周辺道路ネットワークである岡山環状南道路が令和6年度となっています。道路の開通による渋滞緩和や移動時間の短縮などにより、さらなる物流の効率化が期待されます。



(岡山県港湾課)

『水島港利用促進セミナー(真庭)』を開催



セミナー会場の様子

令和元年10月4日(金)、真庭リバーサイドホテル(真庭市開田620)において、県北部の製造業を中心に13社・団体20名のご参加をいただき、水島港利用促進セミナー(真庭)を開催しました。

岡山県港湾課の光畑一良課長の挨拶の後、同港湾課の安原由純参事が水島港のPR動画を活用して「水島港の概要について」説明するとともに、4車線化が進む岡山自動車道の整備状況についても説明を行いました。続いて、水島港国際物流センター(株)三村富士男社長が「水島港国際コンテナターミナルについて」紹介を行いました。

後半は、水島港に外資定期コンテナ航路を有する天敬海運(株)、高麗海運(株)、民生輪船有限公司の日本総代理店であるシーケー・マリタイム(株)大阪支店営業課長の康真一氏、高麗海運ジャパン(株)営業支援部長の安部匡隆氏、三井倉庫(株)代理店事業部営業課課長代理の井上毅氏が自社及び水島港でのサービスについて紹介を行いました。セミナー終了後には、商談会も開催しました。

昨年度、国土交通省が実施した全国輸出入コンテナ貨物流動調査においても、県北部の水島港利用率は依然低く、引き続き開拓の余地があることから、今回は真庭市

でセミナーを開催しました。岡山県内では今後、岡山自動車道の4車線化や国道2号高梁川大橋の4車線化など道路交通網の整備が進み、水島港へのアクセス向上が期待されます。新規顧客を開拓し、水島港への更なる集荷を図るためにも、MITAでは今後も県内でセミナーを継続して開催していく予定です。

水島港国際コンテナターミナル 概要



2002年に供用を開始した外貿コンテナターミナル。岸壁3バース、ガントリークレーン4基により水島港の国際コンテナ貨物をすべてここで取扱う。

■水深(-12m)耐震強化岸壁	1バース
■水深(-10m)岸壁	2バース
■ガントリークレーン	4基
■リーファーコンセント	40口
■コンテナ燻蒸庫(1棟)	192㎡

『JFE西日本フェスタinくらしき』へ出展



ブースに並ぶ来場者



大人気のクレーンゲーム

令和元年11月3日(日)、JFEスチール株式会社西日本製鉄所(倉敷地区)で開催された「JFE西日本フェスタinくらしき」に出展を行いました。今回で11回目の出展となるMITAのブースでは、水島港の概要を紹介するパネルの展示、水島ポートニュースの配布や水島港PR動画の放映などにより、水島港の概要、最新動向を紹介しました。

当日は好天に恵まれ、フェスタ全体の来場者は約8万人(主催者発表)に上り、MITAのブースにも非常に多くの来場者がありました。荷役体験機(クレーンゲーム)によるアトラクションは長蛇の列となり、家族連れに大好評でした。

『海外ポートセールス(中国)』を実施

令和元年11月10日(日)～13日(水)の4日間、中国(上海、青島、大連)において、水島港運協会の吉井誠会長を団長とするMITA訪問団14名で、水島港のポートセールスを実施しました。

現在、水島港には韓国、中国及び台湾の2か国1地域に、17航路週18便の定期コンテナ航路を有していますが、中国航路には3社が週7便を運行してきましました。平成30年の水島港の外貿コンテナ貨物取扱量は、過去最高の13万6千TEUに達しましたが、中国航路はこのうち約3割を占めています。さらに、今年6月から韓国船社3社が共同運航により釜山経由の上海、寧波直行サービスを開始しました。今回は、これらの航路の寄港地のうち上海、青島、大連を訪問しポートセールスを実施しました。

青島、大連の両地では、水島港セミナーを開催し、水島港との航路を運航する上海民生輪船有限公司、神原汽船(中国)船務有限公司などの関係者に対して、水島港を紹介するとともに利用促進について意見交換を行いました。また、青島港(2018コンテナ取扱量世界8位)、大連港(同17位)の視察も実施しました。ともに世界規模の広大な港湾ですが、最先端の施設や管理・運

営状況を調査することで水島港の将来の施設整備、運営に参考となる部分がありました。特に、青島港では、2017年にアジアで初めて運用開始された全自動化コンテナターミナルを視察しましたが、遠隔操作によるSTS(岸壁荷役ガントリークレーン)、AGV(無人搬送車)、ARMG(レール式自動トランスファークレーン)などの無人の荷役機械、トラックが岸壁を行き来する様子は新鮮でした。

上海では、上海民生輪船有限公司、神原汽船(中国)船務有限公司、また釜山経由便を開設した高麗海運(上海)有限公司を訪問し、定期航路運航に対する謝意を伝達するとともに、今後のサービスの維持・拡充を依頼しました。また、訪問した3社に加え、釜山経由便を共同運航する天敬海運上海事務所、韓国南星海運株式会社上海代表処も加えて意見交換会を実施し、水島港の利用促進について意見交換を行いました。

MITAでは、今後も引き続き官民一体となり、水島港のコンテナ航路の維持・拡大につながるよう積極的なポートセールスに努めてまいりたいと考えております。

外貿コンテナ貨物取扱量(2018年)

		外貿航路(2カ国1地域)		
		韓国航路	中国航路	台湾航路
輸出 (2018)	TEU	40,125	20,346	11,605
	フレートトン	467,535	160,290	213,019
輸入 (2018)	TEU	27,587	21,338	15,190
	フレートトン	426,962	284,239	295,135
合計	TEU	67,712	41,684	26,795
	フレートトン	894,497	444,529	508,154
割合	TEUベース	50%	30%	20%
	便数/週	12便/週	7便/週	1便/週

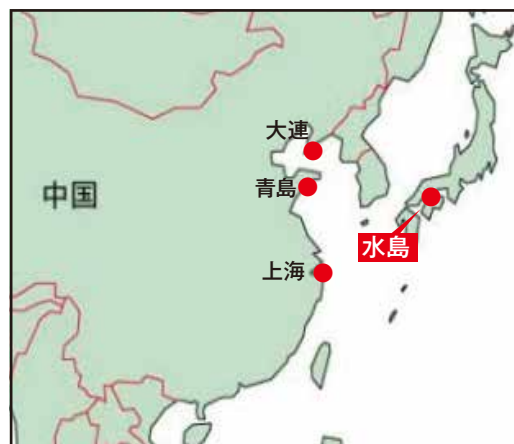
※便数は2018年当時



水島港セミナーin青島にて



上海民生輪船有限公司にて



訪問先位置図

国際海上コンテナ車(40ft背高)の特殊車両通行届出不要区間について

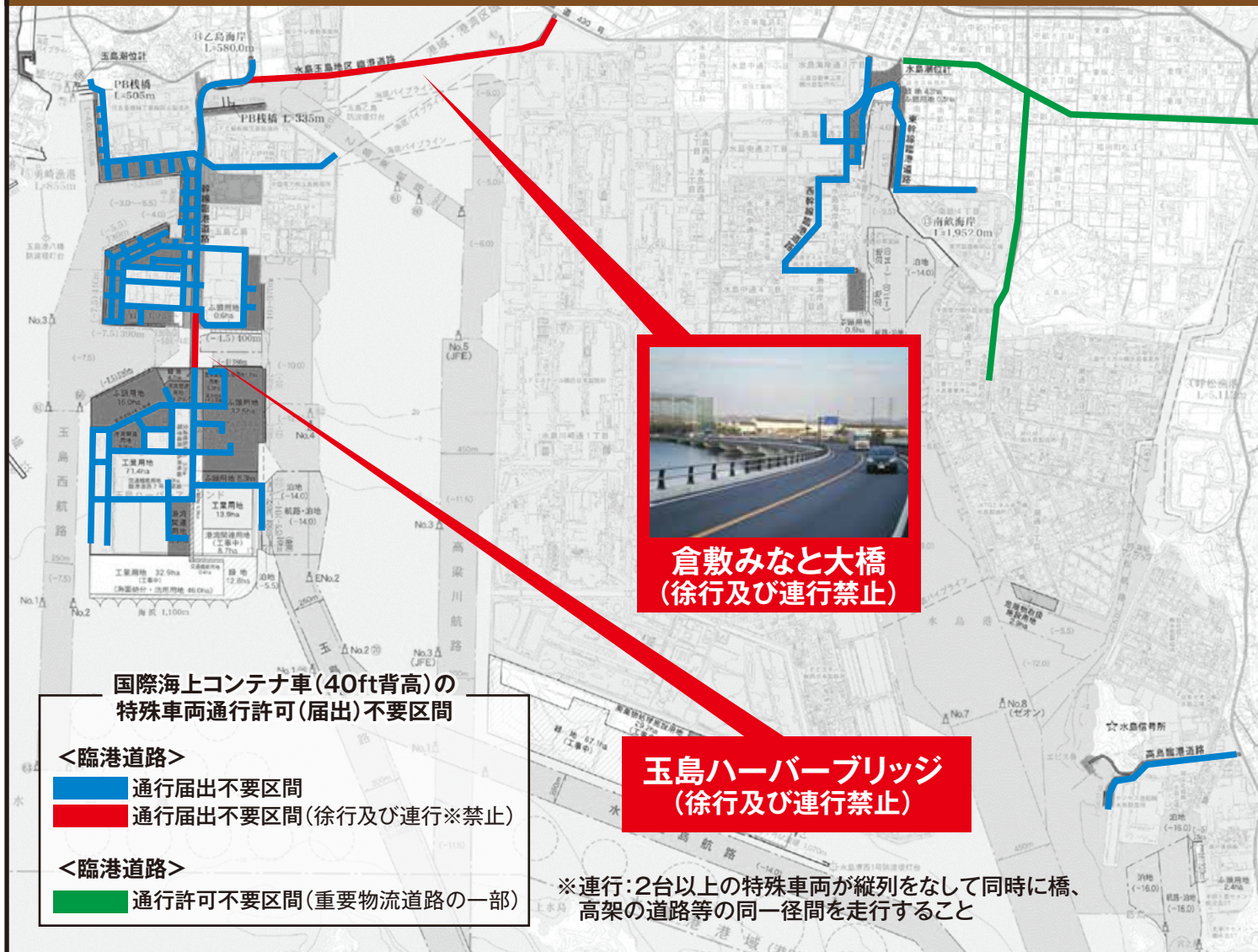


図-1 国際海上コンテナ車(40ft背高)の特殊車両通行届出不要区間

◆ 関連するホームページ ◆



水島港周辺の国際海上コンテナ車(40ft背高)における
特殊車両通行届出不要区間
<http://www.pref.okayama.jp/page/622277.html>
(岡山県HP)



国際海上コンテナ車(40ft背高)における
特殊車両通行許可不要区間
http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/butsuryu/pdf/02_cgk.pdf
(国土交通省HP)

◆ 国際海上コンテナ車(40ft背高)の定義 ◆



出典:国土交通省資料抜粋

平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、平成31年4月に国土交通大臣が物流上重要な道路輸送網を「重要物流道路」として指定しました。(重要物流道路は道路法上の道路について指定されており、港湾法上の道路である臨港道路の指定はされていません。)

さらに、国際海上コンテナ車(40ft背高)等の円滑な通行を図るために、重要物流道路のうち、道路管理者が道路構造等の観点から支障がないと認めて指定した区間に限定して、一定の要件を満たす国際海上コンテナ車(40ft背高)の特殊車両通行許可の届出が不要となりました。これに準じて、水島港における臨港道路についても、道路法上の道路の特殊車両通行許可申請に準じた届出の提出が不要となりました。ただし、「倉敷みなと大橋」と「玉島ハーバーブリッジ」については走行の安全を確保するため、当面の間は現状の走行条件である「徐行及び連行(※)禁止」による走行が必要です。(図-1)水島港周辺の特殊車両通行届出不要区間や条件付(徐行及び連行禁止)走行区間については岡山県港湾課のホームページに掲載しています。

(岡山県港湾課)

玉島ハーバーアイランドへの企業立地が決定



玉島ハーバーアイランド

玉島ハーバーアイランドに飼料用油脂及び植物ダーク油等の製造を行う有限会社モリワキ商事の立地が決定し、令和2年1月15日に発表しました。

また、昨年8月には、複合素材形金属スクラップの金属・樹脂原料リサイクルを行う株式会社田中商会の立地が決定しており、当地区への企業進出が続いています。

今回の立地決定により、玉島ハーバーアイランドへの立地は31社(74.1ha)となりました。残り約14.9haの分譲に向け、引き続き地元倉敷市やMITAと連携し誘致活動に取り組んでまいります。

(岡山県企業誘致・投資促進課)

外貿定期航路の船社等と「水島港の利用促進に関する意見交換会」を開催



意見交換会の様子

水島港国際物流センター(株)では、水島港国際コンテナターミナルのさらなる利用促進を図るため、令和元年10月16日、東京都内において、水島港に外貿定期コンテナ航路を有する船社8社(15名)と、水島港の船舶代理店4社(8名)、岡山県港湾課及び東京事務所並びに倉敷市水島港振興室の方々に出席していただき、昨年度に引き続き「水島港の利用促進に関する意見交換会」を開催しました。

当社三村社長の開会あいさつに続

き、当社から水島港国際コンテナターミナルの現況について説明を行うとともに、岡山県港湾課から水島港の概要(新たな貨物への取り組み)について説明をいただきました。その後の意見交換会では、「ヤード拡張の進捗状況について」や「海外ポートセールス以外に国内企業に対してどのようなセールス活動を展開されているのか」などの質問や有益なご意見、ご提言を多数いただいたところでです。

この意見交換会で各社からいただいた意見やご提言、また現在行なっている荷主企業の訪問において伺った情報などをしっかり検討し、コンテナ貨物の増加や利用促進を図ってきたいと考えております。

(水島港国際物流センター)



三村社長のあいさつ



玉島町並み保存地区

構成文化財③玉島町並み保存地区

北前船と高瀬舟の水運により発展した玉島には当時の町並みが残っています。玉島港の最盛期には、港周辺に43軒もの問屋があり、200棟を超える土蔵が軒を連ねていたといえます。

港の主要積み出し品は鉄・煙草・米・和紙・実綿・繰綿などで、このうち鉄・煙草・米・和紙などは主として大阪へ、実綿・繰綿は主として九州へ輸送されていました。

玉島港から積み出される綿は「備中綿」と呼ばれ、最盛期には耕地面積の3割以上で綿作が行われていました。玉島は干拓によってできた土地です。干拓された新田は塩分を含んでおり稲作に適し



千石船(玉島歴史民俗海洋資料室)

ませんが、綿は塩分に強いうえ商品としても米の数倍の利益があがるという商品的価値があったことがその背景にあります。

しかし、綿栽培は稲作以上に肥料が必要でした。綿作用として北九州などからは干鰯(ほしか)が、西廻り航路により東北、北海道からはニシン粕(かす)などが玉島港に大量に移入されました。

玉島港の運上銀(税)の記録によれば、米・茶などのほか、実綿・繰綿・綿実・干鰯など綿作に関連するものが多く、一方で延享2年(1745年)の記録では、干鰯などの肥料には運上を課さないこととなっています。これは肥料の値段を安くすることで綿を増産し、綿関係の輸出品からより多くの運上を取ろうと考えたためです。その結果、寛延3年(1750年)の記録では綿が運上銀全体の約8割を占めるほどの主要輸出品となっていたことがわかります。玉島はまさに「綿」で栄えた町だったのです。

玉島の伝統的な商家の町並みは港周辺の新町筋・仲買町・矢出町などに残っていて、その中でも特に最初に問屋街が作られた新町筋に大店の重厚な伝統的建物が多くあります。新町の旧問屋街は、



北側には住居と店舗、港に接した南側には蔵が建ち並んでいます。これは、船から降ろした荷を直接蔵へ入れていたためで、現在でもその名残が残っているのです。

玉島の町並みの特徴は、虫籠窓や格子、漆喰壁やなまこ壁をもつ本瓦葺き塗屋造りの商家や土蔵群です。北前船によってもたらされた富が町に繁栄をもたらし、形作られた豊かな歴史的景観が現在も玉島に残っているのです。

(倉敷市日本遺産推進室)

水島港の定期コンテナ航路等の紹介

◆外貿定期コンテナ航路(2ヶ国1地域17航路 18便/週)◆

2020年1月末現在

曜日	航路名	船 社	航 路	代理店
月	大連	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd.	(火) 天津新港→大連→青島→福山→ 水島 →広島→細島→志布志→(金)(土) 寧波→上海	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	南星海運(株) Namsung Shipping Co.,Ltd.	(土)(日) 釜山→(月) 水島 →松山→今治→三島川之江→岩国→大竹→釜山	日本通運(株)水島海運支店
火	韓国	高麗海運(株) Korea Marine Transport Co.,Ltd.	(金) 浦項→(土) 蔚山→(日) 釜山→大阪→神戸→ 水島 →福山→広島→釜山	中谷興運(株)
	韓国	長錦商船(株) Sinokor Merchant Marine Co.,Ltd.	(日)(月) 釜山→三島川之江→(火) 水島 →徳山→釜山	山九(株)岡山支店
	大連	民生輪船有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(木) 大連→(土) 青島→伊万里→福山→(火) 水島 →高松→広島→三田尻中関→(土)(土) 大連→青島	(株)上組玉島支店
	上海	民生輪船有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(土) 上海→(火) 福山→(火) 水島 →高松→広島→岩国→上海	(株)上組玉島支店
	福州	吉舟船務有限公司 Ji Zhou Shipping Co.,Ltd.	(木) 廈門→(金) 江陰→(金)(土) 福州→(火) 水島 →大阪→横浜→東京→名古屋→(火)(木) 福州→廈門	日本通運(株)水島海運支店
	上海	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd.	(金) 寧波→(土) 上海→伊万里→福山→(火) 水島 →広島→志布志→天津 新港→(火)(木)(金) 大連→青島	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	興亜LINE(株) Heung A Line Co.,Ltd.	(日)(月) 釜山→(水) 伊万里→(木) 水島 →三島川之江→釜山	日本通運(株)水島海運支店
水	韓国・中国	南星海運(株)/天敬海運(株) Namsung Shipping Co.,Ltd./C.K.Line Co.,Ltd.	(火)(水) 上海→(水)(木) 釜山→門司→三島川之江→(水) 広島→(土)(土) 水島 →門司→博多→釜山→蔚山	日本通運(株)水島海運支店/中谷興運(株)
木	台湾	ワンハイラインズ(株) Wan Hai Lines Ltd.	(木) 大阪→(火) 水島 →福山→広島→門司→台北→台中→高雄→香港→大阪	中谷興運(株)
	韓国	汎洲海運(株) Pan Continental Shipping Co.,Ltd.	(月) 釜山→(木) 広島→神戸→大阪→高松→(金)(土)(日) 水島 →蔚山→釜山	中谷興運(株)
	韓国	カメリアライン(株) Camellia Line Co.,Ltd.	(土)(日) 釜山→(木) 細島→志布志→大阪→(土) 水島 →大分→宇部→釜山	中谷興運(株)
金	韓国	高麗海運(株) Korea Marine Transport Co.,Ltd.	(水) 釜山→(金) 広島→高松→(日) 水島 →今治→釜山→長崎→熊本→八代→釜山	中谷興運(株)
	上海	民生輪船有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(火) 上海→(金) 三田尻中関→(日) 水島 →福山→広島→徳山下松→(火) 上海	(株)上組玉島支店
	上海	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd.	(火) 上海→(金) 福山→(火) 水島 →三島川之江→広島→大分→上海	日本通運(株)水島海運支店
土	韓国	天敬海運(株) C.K.Line Co.,Ltd.	(水)(木) 釜山→(土) 神戸→(日) 大阪→(月)(火)(水)(木) 水島 →釜山→仁川→釜山	中谷興運(株)
	韓国	興亜LINE(株) Heung A Line Co.,Ltd.	(木) 釜山→(土) 伊万里→(日)(月) 水島 →高松→釜山	日本通運(株)水島海運支店

◆内貿定期コンテナ航路(4航路 9便/週)◆

曜日	航 路	船 社	航 路	代理店
火木土	神戸	(株)ユニエックス Uni-x Coporation	神戸→ 水島 →神戸	中谷興運(株)
火木	神戸	井本商運(株) Imoto Lines .ltd	神戸→ 水島 →神戸	(株)上組玉島支店
月木土	神戸	オリエンタル・オーバーシーズ・コンテナライン(株)日本支社 Orient Overseas Container Line Ltd Japan Branch	神戸→ 水島 →神戸	(株)上組玉島支店
木	沖縄	南日本汽船(株) Minami Nippon Kisen Co.,Ltd.	那覇→呉→三島川之江→ 水島 →高松→新居浜→那覇	日本通運(株)水島海運支店

■お問い合わせ先

中谷興運株式会社 玉島支店

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-2(玉島ハーバーアイランド内) / TEL.086-522-6321(代) / FAX.086-522-6631

【営業課】TEL.086-522-7600(貨物取扱全般) 【倉庫・陸運課】TEL.086-522-6494(倉庫・配送)

【通関課】TEL.086-522-6492(輸出入通関) 【海務課】TEL.086-523-5551(船社代理店・CY) ホームページアドレス <http://www.nakatani-grp.com/koun/>

日本通運株式会社 水島海運支店

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8259-15(玉島ハーバーアイランド内)

【国際輸送課】TEL.086-523-0203 / FAX.086-523-0404(通関・フォワーディング・国際営業) 【海 運 課】TEL.086-523-0205 / FAX.086-523-1471(港湾荷役・倉庫・配送)

【代理店課】TEL.086-523-0204 / FAX.086-523-1755(船社代理店関係) 【オペレーション課】TEL.086-523-0223 / FAX.086-523-1471(作業関係)

ホームページアドレス <http://www.nittsu.co.jp/>

株式会社 上組 玉島支店港運課

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1 / TEL.086-525-8670 / FAX.086-525-0890 ホームページアドレス <http://www.kamigumi.co.jp/>

山九株式会社 岡山支店 業務グループ

【船舶代理店関係/港運係】 〒712-8051 岡山県倉敷市中畝1-7-23 / TEL.086-455-8133 / FAX.086-455-8167

【通関・輸出入仲介関係/輸出入係】 〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1 / 水島港国際コンテナターミナル4F TEL.086-525-0039 / FAX.086-525-5139

ホームページアドレス <http://www.sankyu.co.jp/>

今号の表紙

無人STS・無人搬送車・自動RTGによる作業風景
(青島港前湾港区全自動化コンテナターミナル)

MITA(水島ポートニュース)ホームページアドレス
<http://www.optic.or.jp/MITA/> 携帯からはこちら▶▶

